

平成 25 年 3 月 8 日

各 位

会 社 名 原田工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 原田 章二
(JASDAQ・コード 6904)
問合せ先
役職・氏名 執行役員 青木 隆
電話 03-3765-4321

新長期ビジョン及び新長期経営計画等の策定に関するお知らせ

この度当社グループは、2013 年度を初年度とする新長期ビジョン「**HARADA NEXSTAGE 19** (ハラダ ネクスステージ ナインティーン)」及び新長期経営計画 (2013 年度～2018 年度) を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

HARADA NEXSTAGE 19

～2019 年3月期に到達すべき未来像～

1. 新長期ビジョン「**HARADA NEXSTAGE 19**」及び新長期経営計画策定の背景

現在、当社グループは 2007 年度に策定した現長期ビジョン (2015 年度まで) の期間中でありますが、リーマンショックによる世界経済の停滞、欧州の債務危機、東日本大震災等、当初想定していない外部環境の変化や昨年実施した日本アンテナ株式会社の自動車用アンテナ事業の譲受け等、当社を取り巻く環境は著しく変化しております。

このような状況を踏まえ、新長期ビジョン「**HARADA NEXSTAGE 19**」及び新長期経営計画を策定することといたします。

また、従来当社は、中期を 3 年、中期の 3 期間で 9 ヶ年を長期としておりましたが、記載のとおり目のまぐるしく変化する外部環境への対応や自動車のモデルサイクルを念頭に、中期を 2 年、3 期間で 6 ヶ年を長期とすることといたしました。

2. 経営理念及び経営基本方針

[経営理念]

－共創と革新－

HARADA は、ベストを追求するプロフェッショナル集団であり続けます。

経営理念は、HARADA にとって不変の信念であり、グループ全員が各々のマネジメントと具体的な活動の中で一貫して実践していく道標であります。HARADA の事業領域、経営戦略、製品構成、組織、目標、諸制度等は、経営理念に基づいて変化していきますが、経営理念そのものは変化することなく永遠に維持します。

[経営基本方針]

1. HARADA は、永遠に存続・発展し続けます。
2. HARADA は、顧客満足を第一義とした経営を実践し続けます。
3. HARADA は、常に社会的貢献を追求し続けます。
4. HARADA は、プロ社員が活躍できる場を提供し続けます。
5. HARADA は、活力あふれる組織風土を持ち続けます。

経営基本方針は経営理念に基づく具体的な活動を実践する基本姿勢です。

3. 「**HARADA NEXSTAGE 19**」(2013 年度～2018 年度)

車載アンテナビジネス分野において、製品力、サービス提供能力を高め世界市場をリードできるグローバル提案型企业へ進化するとともに最適な企業基盤を確立し企業品質を向上させる。

当社は、今まで車載用アンテナビジネス分野と通信用アンテナ（携帯電話用アンテナ、PHS 用基地局等）分野を事業としてまいりました。車載アンテナビジネス分野は競争が激しい分野ではありますが、世界的視野における自動車の生産台数は今後伸びていくことが確実であります。

また、昨年実施いたしました「日本アンテナ株式会社の自動車用アンテナ事業の譲受け」により、主要日系自動車メーカーとのより一層の強固な関係構築が実現したこと等に伴い、強い事業をより強くするべく、車載用アンテナビジネス分野に経営資源を集中的に投下することといたします。

新長期ビジョンにおいて当社は、車載アンテナ（AM/FM 用アンテナ、各種デジタル用アンテナ、各種メディア用アンテナ、ITS 関連アンテナ、各種中継ケーブル、アンテナ周辺機器等）ビジネス分野を唯一の事業分野とする専門メーカーとなることを明示し、製品を企画・開発する力・コスト力・品質力等を含む「製品力」と調査・企画能力を一層充実させることにより「サービス提供能力」を高め、顧客のグローバル展開に対応した提案を実施することにより、顧客にとって欠くことのできない強い関係を構築・維持するための進化を実践すると共に、世界の車載アンテナビジネスをリードできるグローバル提案型企业に進化することを目指します。

また、環境の変化に強い収益力を持つことにより、財務体質を一層強固にすること及び更なる成長に向けた的確な投資を実践するための最適な企業基盤を確立することにより、企業として信頼性の高いブランドを構築し、企業文化・企業風土・社会貢献等を含む企業としての品質を向上させることを目指します。

4. 「**HARADA NEXSTAGE 19**」達成のための新長期経営計画の概要（2013 年度～2018 年度）

新長期経営計画では「競争の優位性の強化」及び「最適な企業基盤の確立」の二つの柱を掲げ、新長期ビジョンの達成を目指します。

（1）競争の優位性の強化

製品力強化	コスト競争力の強化とコスト競争力を念頭に置いた新たな製品の開発及び既存製品の改良により製品力を強化すると共に、製品力の強化を支える適正な品質の確保と最適なサプライチェーンの構築を図る。
サービス提供能力の強化	情報収集・分析能力向上、調査・企画能力強化により、製品提案能力及び情報提供能力を強化する。

（2）最適な企業基盤の確立

組織力強化	本社機能の再編（※）によりグループの連携を強化すると共に執務環境や業務の改善と効率化を図る。また、人材育成の強化により各領域の人材能力向上を図る。
 ブランドの確立	「世界で唯一グローバルネットワークを持つ車載アンテナ専門メーカー」として、競争優位性の強化、企業品質の向上等を実現する信頼性の高いブランドを確立する。
グループ経営の実践によるグループシナジーの追求	本社機能の一層の強化及びグループ各社の役割の明確化と徹底により、グローバルに展開するグループの強みを活かし、グループシナジーの最大化を図る。

※ 本社機能の再編の詳細については、平成 25 年 3 月 25 日に発表する予定です。

5. 定量目標（連結）

	2012 年 3 月期（実績）	2019 年 3 月期（目標）
売上高	217 億円	400 億円以上
売上高営業利益率	4.9%	10.0%以上

以上